

富士川

1月号 昭和45年1月25日

No.115

富士川町役場発行
富士川町岩淵121番地
電 01111

町の人口

45.1.1現在	15,176人
男	7,482人
女	7,694人
世帯数	3,407世帯
(面積)	31.09km ²

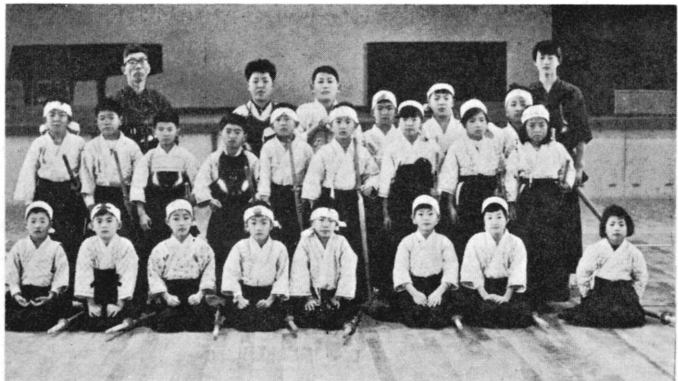
印刷/望月印刷所 T 010304

体協陸上部(望月康江部長)の主催で一月十五日に行なわれた第六回祝成人町民各区対抗駅伝大会に、またも北松野チームが優勝。結束したチームワークの強さを見せ、43・44年に続き三年連続優勝の偉業を果しました。来年はどうだろう、と早くも同チームの「四年連続成るか」に興味が寄せられます。参加チームが六区と少なかつたことが惜しまれ、各区の奮起が望まれます(関連・6P)



昭和四十五年第十九回成人式は、一月十五日午前十時、一小体育館で挙行されました。新成人は、最終の締めで三百四十人(男子一八五名・女子一五五名)成人式出席者は二百五十名、中川町長の式辞、若月議長の祝辞、原田教育長、望月婦人会長の励ましのことば、丸山青年団長の指揮によるコーラスを経て、成人代表の谷万知子さん(本四)が、論文「はたちの春に思う」を発表、意義深い式典を閉じました。町および婦人会から記念品が贈られ、記念写真撮影後、散会。

少年剣士(小学生)の寒けいこが、一月四日から六日までの三日間、毎朝七時から八時まで、一小体育館で行なわれました。尾崎初男練士(体協副会長・体協剣道部長 剣道七段・44歳・尾崎印刷所社長)の主宰する体協剣道部の少年部員(40名)の皆さん。吉田日出夫君(日大三島高三年・初段・新町四十九)の補助を得て、氷のような床に素足で心身練磨、礼に始まり礼に終る練習風景に感嘆させられます。同部は毎週木・土の午後六時から七時半まで一小体育館で小・中・高・一般を集めてけいこ。なお、町民剣道大会は二月末か三月上旬開催される予定です。



町議会 十二月定例会

八案件可決

町議会十二月定例会は、昨年十二月二十二日に開催、午前九時から午後二時半まで、43年度町一般会計決算認定など上程八案件を審議、それぞれ原案どおり可決しました。

閉会後引続いて行なわれた全員協議会では、合併推進協議会の規約案が審議されました。

全議員十八名出席のもと、若月議長の宣告で開会、中川町長の一般報告、各常任委員長の委員会報告に続いて芦川議員、太田(義)議員の一般質問後、議事にはいりました。

① 43年度町一般会計決算認定

② 国民健康保険特別会計決算認定

③ 町公共用地先行取得特別会計決算認定

④ 水道事業会計決算認定

⑤ 専決処分

衆議院議員選挙の予算が当初に計上されておらず、選挙の執行が不可能であり、また議会を招集す

る暇のないため、十二月六日、町長専決により補正予算を組んだものです。

名誉町民条例

設定

名誉町民条例が設定されました。中川町長は、同条例の設定について次のように説明しています。

「町の社会、文化の興隆に功績があった者に対し、その功績と榮譽をたたえるため、名誉町民の称号を贈り、町民の象徴として顕彰することをねらいとして、設定します」

ことは町自治制80周年にあたり、記念事業の一環として実施する予定です。

⑥ 一般事務組合の設置
⑦ 町議員の給与に関する条例等の一部を改正する条例

人事院勧告にもとづく給与改訂についての法律が、44年12月2日第62回臨時国会において成立施行されたため、国家公務員に準じて

富原地区消防組合

富士川消防署

45年度中に新設

富原地区消防組合が誕生します。当町および蒲原、由比三町で組織されるもので、各町議会十二月定例会でそれぞれ可決され、県の認可後発足します。

最近の社会状況から、高圧ガス・石油類・新建材の使用等により化学的消火、初期消火等近代的な消防力と激増する交通事故救急業務機能を常備する職業消防組織が必要となってきました。

ところが、常時活動する消防署の設置は、町単位では財政的に困難です。

富原地区三町は、すでに消防署を設置している蒲原町を中心に、広域行政の問題として協議し続け今回の運びとなったもの。

県知事の許可の日から施行する

給与改定を行ないました。

⑧ 名誉町民条例設定
以上の議案八件を可決後

◆共同アンテナ設置(日出町)
◆郵便物の日曜配達禁止
◆室野林道舗装工事施行
計三件の請願書を審議、それぞれ委員会に付託しました。

同組合規約によりまずと、組合議会の議員は各町四名、計十二名で編成され、組合事務所は、蒲原町役場内におかれます。

この組合は、消防団に係るもの



水利施設の設置、維持管理に関するものを除き、消防・救急事務を共同で処理します。

管理者および副管理者は、三町町長の互選により、任期二年。組合は、各町の負担金、補助金その他の収入で運営されます。

45年度は、富士川消防署、由比消防署を建設、消防本部(蒲原消防署内)の本部車一台、ポンプ車二台、救急車二台を購入(富士川と由比へ各一台配置)専用無線を施設します。

職員が配置されるのは46年度からで、富士川消防署には、十一名が常勤することになります。

富士川消防署は、約一千万円の施設費をもって国道沿いの適地に建設される予定です。

なお、消防署の設置によって、現在の消防団が減員されることなく、従前と同じく、火災・風水害に対処します。

友だちの運転する乗用車が衝突事故で中破、二人の友が負傷、先方も大破、三人が入院、という騒ぎから一週間。

いまさらながら、恐怖を感じさせられるが、だからといって、わたくしの場合、運転を止めればひあがってしまいう結局は、運転者自身が、神経を集中し、細心の注意を払わなければならぬ。と同時に一般の人たちの運転者に対する思いやりというもの、どれほど事故防止に役立つかというところをお知らせしたい。広報通信員(岩渕)小田善一

町合併推進協議会

38 委員で構成

昨年の町議会十二月定例会後、引き続き行われた全員協議会で、町の合併推進協議会規約案が検討され、同規約を原案どおり採択することを決定。

ことしにはいり、一月十二日、二度目の全員協議会を開き、合併推進協の委員三十八名を次のように選定しました。

合併推進協議会の規約によりますと、その目的は、市町村行政の広域化の要請に対処し、庵原地区三町の合併を調査研究するものです。そのため、①庵原地区の合併に関する調査研究②その他目的を達成するために必要な事項に関する事業を行います。委員は、町長、助役、収入役、教育長、協議員および学識経験者。

なお、協議会の下部に理事会をもち、理事会は、緊急事項その他会長が必要と認めた事項に関してその都度開催されます。理事は、助役、議会副議長、三常任委員長、協議会委員

郎 中之郷下―池上憲

■団体代表者

教育委員会―山本一 商工会―斎藤久男 法人懇話会―白石工業 婦人会―望月八代 区長会―小林正衛・浅場峯一・宇佐美裕 農協―浦田富雄 PTA―斎藤静晴・望月勝年

なお、第一回の合併推進協議会は、財団法人国土計画協会に委託してある「庵原地区総合開発プラン」が近々できあがりますので、その検討を兼ねて二月上旬開催される予定。

各種団体長会議に

町、合併問題等を報告

町民皆さんの声を町政に反映させるため、恒例になった（ことし三回目）各種団体長会議が一月十七日午後二時、老人福祉センターで開かれました。

区長会、婦人会、青年団、商工会など全部で四十七のあらゆる団体の代表者を集めて行なわれたもので、町当局からは、中川町長など三役、各課長が出席。

町側から、庵原三町が調査研究している三町合併問題、庵原地区

消防組合設立による富士川消防署の新設、昨年の団体長会議で推進を決定した冠婚葬祭など行事の簡素化、生活改善運動のその後などが報告されました。

とくに、中川町長は、当町の将来を決定づける合併問題について各種団体でも、その重要性を認識して、真剣に検討していただきたいと要望しています。

また、昨年から町ぐるみで推進している町民重点目標について協

議した結果、ことしは「あいきつしよう」に決まり、町では、表に五項目の町民憲章を、裏にこの文字を印刷した名刺大のカードを一万枚作成、各世帯、事業所、学校へ配布、残り各会合の際のPR用に利用することになりました。

また、このほか「あいきつ」をしようという文字を印刷したステッカー五千枚を別に用意、各世帯に配布します。ことしは、市制、町村制施行満八十周年にあたり、各種の記念行事を行なう予定になっていますので、団体長の意見要望を求め、運営上の参照としてまとめています

無料 交通事故相談

氏原綾夫相談員ほか
町老人福祉センター
2月14・28日 3月14・28日
午後2時～5時
交通事故のことなら、なんでもお気軽にどうぞ。
町交通安全対策委員会

国道改良舗装工事

二月一日から二十五日まで
国道一号線改良舗装工事が二月一日から二十五日までの間、（夜九時～朝六時）行なわれます。区間は、富士川橋西端から本通

一の宮沢医院付近までの約八百メートル。

一月二十六日午後二時から第二分団消防車庫二階で、その説明会が開かれ、坂下、旭町区の役員、関係地区議員、警察および交通安全協会分会長等二十六人が集まり建設省静岡国道工事事務所係官の説明を聞きました。

工事にあたっては、道路情報板工事現場予告板、情報センターからのラジオ放送、チラシの配布等により、予告を徹底することになっています。

交通方法は、片側交互交通として交互時間は二～三分。工事施工中は、常に交通状態を検討するパトロールを実施します

消防団幹部

人事異動

今回、渡辺勉副団長（団員歴19年）と和田幸作第一分団長（同17年）が、退団しました。長い間のご苦勞に深く感謝したいものです。

なお、それに伴う人事の異動が一月一日付で行なわれました。

（ ）内は旧 （敬称略）
副団長 久保田敏男（本部長）
本部長 佐野安彦（五分団長）
一分団長 望月敏雄（副分団長）
五分団長 朝比奈英雄（ ）

庵 原 三 町

消 防 団 連 合 出 初 式

1 月 7 日 に 挙 行



写 真 三 町 消 防 団 の 一 斉 放 水

第二回目の庵原三町消防団連合出初式が、一月七日午前九時から正午まで、当町第一中学校庭で挙行されました。

団員三三五名（富一三七・蒲八五・由一三三）消防車一二台（富五・蒲四・由三）司令車三台が参加。

式典は、国旗掲揚、国歌斉唱で始まり、三町長、三町消防団長の関員および服装、機械器具点検に

続き、優良団員等の表彰、分列行進、ポンプ操作、規律訓練の後、米賓の祝辞があり、消防団万歳三唱で終了しました。

なお、閉式後、三町消防車が一斉放水して、消火の威力を見せて最後を飾っています。

当日、式典席上、表彰された当町関係者は次のとおりです。

◆ ◆ ◆ （敬称略）

静岡県消防協会会長表彰
特別功労章 分団長 米倉秀雄
功労章 副分団長 野沢蒼富
" " " 小林 茂

10年	班 長	丸 山 保	加茂徳平
"	団 員	滝 建 夫	久保田勝男
"	"	星野森三	佐野静嘉
"	"	国本定直	静岡県消防協会清庵支部長表彰
"	"	望月義員	特別功労章 部長 望月福吉
"	"	小池正一	" 班 長 望月 実
"	"	芦川豊彦	" 団 員 国本定直
"	"	望月時治	" " 望月司一
"	"	吉田益三	" " 吉田益三
15年	副分団長	野沢蒼富	町長が表彰する優良団員
20年	分 団 長	米倉秀雄	班 長 星野森三
25年	副 団 長	坪内佐吉	" 團 員 望月光男
30年以上勤続功労章	副 団 長	柳下寿男	" " 天野 保
"	"	丸山 保	" " 神戸与四郎
"	"	常盤英明	退団者に対する感謝状
"	"	原田時夫	齋藤五夫・齋藤初男・吉田守
"	"	水上恵次	火の元優良家庭表彰
"	"	太田彰一	深沢好雄（本通一）望月林蔵（木島）清水隆治（中山）宇佐美裕（儘下町）
"	"	清水 昇	消防協力者表彰
"	"	吉田虎男	イハラケミカル工業静岡工場
"	"	木本繁司	退団者に対する感謝状
"	"	吉田芳光	齋藤五夫・齋藤初男・吉田守
"	"	吉田虎男	火の元優良家庭表彰
"	"	吉田虎男	深沢好雄（本通一）望月林蔵（木島）清水隆治（中山）宇佐美裕（儘下町）
"	"	吉田虎男	消防協力者表彰
"	"	吉田虎男	イハラケミカル工業静岡工場
"	"	吉田虎男	退団者に対する感謝状
"	"	吉田虎男	齋藤五夫・齋藤初男・吉田守
"	"	吉田虎男	火の元優良家庭表彰
"	"	吉田虎男	深沢好雄（本通一）望月林蔵（木島）清水隆治（中山）宇佐美裕（儘下町）
"	"	吉田虎男	消防協力者表彰
"	"	吉田虎男	イハラケミカル工業静岡工場
"	"	吉田虎男	退団者に対する感謝状
"	"	吉田虎男	齋藤五夫・齋藤初男・吉田守
"	"	吉田虎男	火の元優良家庭表彰
"	"	吉田虎男	深沢好雄（本通一）望月林蔵（木島）清水隆治（中山）宇佐美裕（儘下町）
"	"	吉田虎男	消防協力者表彰
"	"	吉田虎男	イハラケミカル工業静岡工場
"	"	吉田虎男	退団者に対する感謝状
"	"	吉田虎男	齋藤五夫・齋藤初男・吉田守
"	"	吉田虎男	火の元優良家庭表彰
"	"	吉田虎男	深沢好雄（本通一）望月林蔵（木島）清水隆治（中山）宇佐美裕（儘下町）
"	"	吉田虎男	消防協力者表彰
"	"	吉田虎男	イハラケミカル工業静岡工場
"	"	吉田虎男	退団者に対する感謝状
"	"	吉田虎男	齋藤五夫・齋藤初男・吉田守
"	"	吉田虎男	火の元優良家庭表彰
"	"	吉田虎男	深沢好雄（本通一）望月林蔵（木島）清水隆治（中山）宇佐美裕（儘下町）
"	"	吉田虎男	消防協力者表彰
"	"	吉田虎男	イハラケミカル工業静岡工場
"	"	吉田虎男	退団者に対する感謝状
"	"	吉田虎男	齋藤五夫・齋藤初男・吉田守
"	"	吉田虎男	火の元優良家庭表彰
"	"	吉田虎男	深沢好雄（本通一）望月林蔵（木島）清水隆治（中山）宇佐美裕（儘下町）
"	"	吉田虎男	消防協力者表彰
"	"	吉田虎男	イハラケミカル工業静岡工場
"	"	吉田虎男	退団者に対する感謝状
"	"	吉田虎男	齋藤五夫・齋藤初男・吉田守
"	"	吉田虎男	火の元優良家庭表彰
"	"	吉田虎男	深沢好雄（本通一）望月林蔵（木島）清水隆治（中山）宇佐美裕（儘下町）
"	"	吉田虎男	消防協力者表彰
"	"	吉田虎男	イハラケミカル工業静岡工場
"	"	吉田虎男	退団者に対する感謝状
"	"	吉田虎男	齋藤五夫・齋藤初男・吉田守
"	"	吉田虎男	火の元優良家庭表彰
"	"	吉田虎男	深沢好雄（本通一）望月林蔵（木島）清水隆治（中山）宇佐美裕（儘下町）
"	"	吉田虎男	消防協力者表彰
"	"	吉田虎男	イハラケミカル工業静岡工場
"	"	吉田虎男	退団者に対する感謝状
"	"	吉田虎男	齋藤五夫・齋藤初男・吉田守
"	"	吉田虎男	火の元優良家庭表彰
"	"	吉田虎男	深沢好雄（本通一）望月林蔵（木島）清水隆治（中山）宇佐美裕（儘下町）
"	"	吉田虎男	消防協力者表彰
"	"	吉田虎男	イハラケミカル工業静岡工場
"	"	吉田虎男	退団者に対する感謝状
"	"	吉田虎男	齋藤五夫・齋藤初男・吉田守
"	"	吉田虎男	火の元優良家庭表彰
"	"	吉田虎男	深沢好雄（本通一）望月林蔵（木島）清水隆治（中山）宇佐美裕（儘下町）

農 林 業 セ ン サ ス

一九七〇年世界農林業センサスが、二月一日を期して全国一斉に実施されます。この調査は十年に一度の世界の大規模調査です。

農業、林業の実態を調査して現在、未来の農業行政に役立てようとするもので、また、世界的に日本の農業の位置を明らかにします。

◆ ◆ ◆ （敬称略）

調査員（富士川地区）芦川達雄・植松重行・谷津倉章夫・飯島康男・望月一郎・望月章光・原田時夫

二月にはいつて、調査員が該当するお宅を訪問、調査しますのでご協力ください。

調査員（儘下町）

赤い羽根・歳末助け合い

寄金、九二万八千円

昨年十月一日から全国一斉に実施された国民助け合い共同募金も町民皆さんの暖いご支援で、県下でも上位の成績を収めました。
赤い羽根募金

十月一日から十月三十一日まで行なわれる一般募金運動です。

この一般募金は、県募金会に一括納入され、県下の民間で経営されている老人ホーム、子ども収容施設、母子寮、その他福祉関係へ配分されて、あなたの善意が生かされることになっています。

- 町募金総額 五二万八六五〇円
- 戸別寄金 二八万九九五〇円
- 法人懇話会寄金八万四〇〇〇円
- 特志者寄金 一五万四七〇〇円
- 歳末助け合い募金

十二月一日から末日までの歳末助け合い運動に寄せられた金品は昨年を大幅に上回り、現金三九万九千四四四円、みかん四一五キロ物品二点でした。

町内の恵まれない家庭と、老人・児童・身障施設等に入所されている当町関係の皆さんに、暖かい正月を迎えていただくよう贈られ

ました。

十二月十七日十九日の三日間、民生委員、婦人会役員が各施設を訪問、金品を贈って慰問激励しています。

施設の皆さんは、たいへん喜んでおり、たくさんのお礼状が届いています。

「毎年、遠くからわざわざありがとう。わたくしには身寄りがない人もありませんので、暮に皆さんが来てくれるのがただ一つの楽しみです。……以下略」

- 仏教婦人会 一〇〇〇〇円
- 婦人会 一三七七六〇円
- (物品一点みかん四一五キロ)
- 青年団 二二六〇〇円
- 渡辺クリーニング店三〇三〇円
- 仏教会・区長会 九六二二三〇円
- 相生町やよい会 一〇五五〇円
- さくら台幼稚園 五一七八〇円
- 二中学生徒会 一四六八一〇円
- 一中学生徒会 一三三七七〇円
- 中川国兵(小池) 二〇〇〇〇円
- 伊藤高義(幸町) 二五〇〇〇円
- 新四・九班主婦会 五〇〇〇〇円
- 勤労者協議会 八四六〇〇円

東芝寮匿名者 一〇〇〇〇円

(物品一点)

- 一小校内委員会 二七一〇七円
- イハラケミカル有志四七八〇円
- 町議会議員一同 一八〇〇〇円
- 蒲原ライオンズ 一〇〇〇〇円
- 宇佐美義市(大北) 三〇〇〇〇円
- 本州・青婦人部 四一六〇〇円
- 蒲原病院ムードインシックス 一六一三三元
- 富士市富陽軒 七〇〇〇〇円
- 贈り先

町内の生活困窮世帯へ

- 二〇万一五〇二元
- みかん四一五キロ・物品二点
- 各施設と入所者へ
- 二二万六〇〇〇円



写真 中川町長へ募金を渡す一小生徒代表

手をつなぐ親の会へ

二万一六三元

- 三校特殊学級へ五万七七九円
- 望月住民課長の話「赤い羽根、歳末助け合い寄金に厚くお礼申し上げます」

松野子ども会も成人を祝い

成人を祝い

松野子ども会も成人を祝い

松野地区子ども会世話人連合会主催の祝成人松野一周駅伝大会が一月十五日、富士川地区の祝成人駅伝大会と歩調を合わせ挙行されました。

参加者は二小生徒で六チーム、百四十四人の選手が参加して、盛大に、お兄さん、お姉さんの新しい門出を祝いました。

また、なわとび大会も行なわれ学年別に、とび続ける時間の長さを競いました。

◆駅伝成績 (敬称略)

- 一位 大北町チーム 30分32秒
- 二位 八幡町 " 30"45"
- 三位 南町 " 30"55"
- (以下順位・富士見町 清水町・儘下町)

◆なわとび成績

- 一位 天野公次 6分18秒三十坂
- 二位 望月さち子 原方

あげます。

社会の高度成長の谷間に、まだまだ皆さんの善意をよりどころに生活している方がたくさんいます。今後もしっかり社会福祉のためご支援ください」

三位 飯田きみ子 吉添

二年

一位 天野さつき 10分22秒三十坂

二位 天野孝美 水ノ口

三位 望月ちとせ 漆野

三年

一位 天野ゆかり 27分19秒三十坂

二位 富士原春代 道上

三位 国本広子 平清水

四年

一位 天野準子 29分4秒水ノ口

二位 久保田美子 矢所

三位 清水みち子 原方

五年

一位 久保田たえ子 26分15秒平清水

二位 佐野和又 平清水

三位 錦織あけみ 中沢

六年

一位 久保田和美 20分26秒平清水

二位 笹古時男 足ヶ久保

三位 宇佐美和治 大北

一 小 P T A 一 小 に 遊 具 施 設 寄 付

第一小学校の改築工事は予定どおり完成し、本年度のグラウンド整備工事もすべてとのい、きれいな運動場になりました。

今回、この運動場に鉄棒をはじめ、＼はんと棒＼＼うんてい＼＼などの体操器具が設置されました。これは、第一小学校PTA（常盤雅文会長）の寄付によるもので一月二十日、会長はじめ役員から正式に寄付の申出があり、総額では約百万円の多額な施設で、町当局も深く感謝し受領しました。

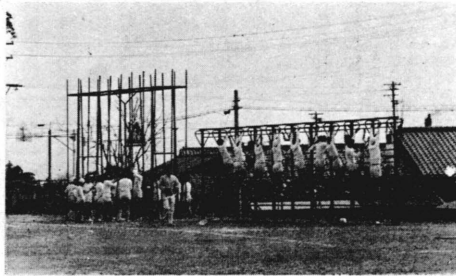
学校の改築で長い間遊具施設がなかっただけに、子どもたちは大喜びで、休憩時間なども＼はんと棒＼＼などは鈴なりの盛況。生徒の健康、体佐の向上に大きな成果をあげること期待されます。

町民卓球大会

二月十五日

町体育協会主催の町民卓球大会が、二月十五日（日）午前八時半

写真 寄付された施設で体操する一小学生



から一小体育館で行なわれます。団体戦と個人戦で、要領は次のとおりです。

- ◆参加資格 二月一日現在、富士川町在住者および町内事業所勤務者
- ◆試合方法 トーナメント方式
- ◆競技規定 44年度日本卓球連盟硬式規約を準用
- ◆申込先および期日

町体育協会事務局長 丸山博康
 (役場内 81-1-1)
 2月10日(火) 16時半まで
 ◆参加料 不要
 ◆表彰 団体および個人、第三

来年こそは あなたの区でも

祝成人駅伝大会終る

富士川町体育協会(若月清会長)陸上部主催の祝成人第6回町民各区対抗駅伝大会が一月十五日に行なわれ、新成人の門出を祝うにふさわしいレースを展開しました。コースは一小校庭―小池―富士川サービスイヤ―小池―役場前で、一〇・二キロ、六区間。

チーム成績および区間第一位は次のとおりです。

優勝 北松野 36分7秒 (三年連続優勝)

- 二位 川坂・堺町 36分50秒
- 三位 宮町 37分19秒
- 四位 東町・日出町 38分8秒
- 五位 相生町 38分34秒
- 六位 旭町 42分43秒 (区間第一位)

- 1区 成人者 二〇五〇m
- 佐野昇司 6分29秒 北松野
- 2区 小学生 一四〇〇m
- 望月利治 4分57秒 相生町

位入賞者まで賞状・賞品 (参加者に参加賞)
 ◆抽選日 2月12日午後6時半
 図書館

3区 30代 一一五〇m
 齋藤 隆 4分5秒 相生町

4区 中学生 二〇〇〇m
 伊藤光雄 7分13秒 北松野

5区 40代上 八五〇m

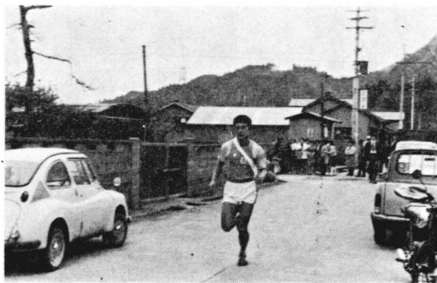


写真 最終コースを走り、区間記録を出した清選手

天野金義 2分46秒 宮町
 6区 10代 二七五〇m
 清 勝元 8分45秒 川・堺
 望月審判長の話「チームの教こそ少なかったが、レースの内容はたいへんよかったと思う。
 北松野チームの三年連続優勝はなかなか達成できぬ記録だけに立派だと思ふ。また、最下位とはいえずよく健闘した旭町チームもたえたい」

来年こそは、あなたの区でもチームを出場させませんか。なお、沿道町民皆さんの応援ぶりも、たいへん気持のよかったことを付記しておきます。

税 便 り

清水 税 務 署

税金の相談のつてくれる人がほしいという納税者皆さんの声にこたえるため、税務署では、所得税青色申告指導係、法人源泉指導係、資産税相談係など、相談専門の窓口を設けています。

このほか、毎月五日(五日・十五日・二十五日)を「税の相談日」と決めて、皆さんの要望に応じています。

確定申告期も近づいています。税金のことで相談したいことがありましたら、一度お気軽にどうぞ

新入学児童の

健康診断二月に

本年四月に入学予定の児童は、二百四十四名いますが、学校保健法によって、就学予定者全員にあらかじめ健康診断を行ないます。これは、児童の心身状況をよく知って、保健上の適正な就学をさせるためです。

すでに入学予定者の保護者には入学通知書とともにお知らせしてありますが、日程は次のとおりですから、保護者が同伴して診断を受けてください。―町教育委員会

2月4日午後1時 第二小学校

2月10日午後1時半第一小学校

(木島区 1時半から)

(岩瀬区 2時 〃)

(中之郷区 2時半 〃)

当日持参するもの

①母子手帳

②就学児童調査表

小学校入学式

四月六日

二百四十四名の入学予定児童の入学式は次の日に行なわれます。該当児童の保護者あて入学通知書をお送りしてありますが、当日その通知書を持参のうえ学校へ提出してください。(30分前から受付します)

◆新入学児童該当者

昭和38年4月2日～39年4月1日

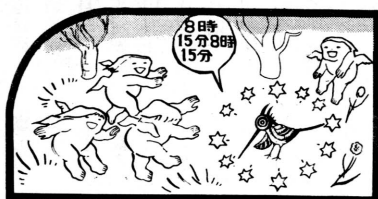
◆入学式日時

第一小学校 4月6日9時半

第二小学校 4月6日10時

星の子

太田利三



富士川町明細図について

先日配付しました「富士川町明細図」に脱落や字の違い等があり、関係者から照会を受けていますが、次のような事情によって作られています。中部広報社が町内二十数店のスポンサーによる広告収入で製作、町全世帯に寄贈したものです。

同社がこの企画について相談のため来町した際、町としては、たとえ無料であろうと次の2点に懸念があり、計画を保留するよう申入れました

①スポンサーとなる一部商店の方に迷惑をかけることにならぬか。

②町内地図については、すでに他社において製作販売している地図(二千元)を見ても間違いが多く、正確度は80%程度である。広告社として綿密な調査による、脱落誤字の少ない、精度の高いものが果してできるか。

ところが、その後同社からすでに調査費に経費をかけ、スポンサーの協力も得て製作してしまつたので、ぜひお願いしたいと申出があり、不本意でしたが配付した次第です

薬剤師募集

共立蒲原総合病院

◆資格 昭和45年3月薬科大学卒業見込の人

◆申込 履歴書(市販の用紙を用いたもの)持参または郵送

◆給与 病院職員の給与に關する条例・同規則により支給(扶養手当・時間外勤務手当・特殊勤務手当あり)

◆勤務時間 平日8時15分～16時30分 土曜日8時15分～正午

(詳細は病院企画室人事係へ)

人の流れ

44・11・20～12・19

祝 結 婚

(敬称略)

区名	新郎	新婦	旧姓
大北	鈴木 廣	ヤス子	鈴木
本四	坪内伸浩	多美子	高野
四十九	谷津倉章夫	悦子	鈴木
東一	高塚隆次郎	るい子	井上
清水	田中邦雄	智子	佐野
本一	桐谷収一	順子	斎藤
清水	白井芳郎	陽子	白井
八幡	稲葉照雄	幸子	渡辺
相生	望月敬光	悦子	吉田
祝 誕 生			
区名	保護者	続柄	
上町	鈴木穂波	康治	長女

儘下	松本惠美	正利	二女	本一	花田美知子	川崎市
小池	望月美由紀	卯吉	二女	宮町	寺下文字	東京都
四十九	桜井規子	節男	長女	堺町	渡辺真智子	富士市
相生	花田和之	一男	長男	新町	渡辺幸子	富士市
宮町	田辺久美	土佐	長女	舟山	望月朝子	富士市
南町	桜井あつ子	磯雄	二女	舟山	占根村敏江	三島市
大北	宇佐美晶子	定雄	長女	清水	石川君子	富士市
相生	望月直浩	正明	三男	室野	谷津倉久美子	富士市
宮町	鈴木秀和	正光	長男	大北	望月則子	東京都
日の出	中西玲子	正純	長女	幸町	芦川美江子	富士市
堺町	久松慶子	孝	長女	舟山	神田満子	富士市
木島	松下典彦	辰美	長男	折	眞	福
大北	谷森雅美	和夫	二女	区名	氏	名
幸町	山田志保	基彦	長女	富士見	井出テル	年令
八幡	久保田賢	治友	長男	堺町	水野裕之	六三
本一	草ヶ谷力	安志	長男	舟山	池谷虎吉	三五
上町	太田光栄	康雄	長女	舟山	佐藤清次	九二
相生	望月真姫	進	長女	八幡	望月やす	六七
堺町	長谷部保幸	保	長男	木島	斎藤安一	九四
東一	川相仁美	宏	長女	宮町	若月康弘	六五
区名	氏	名	転出先	富士見	木伏国太郎	三二
東一	渡辺照子	沼津市		八〇		
大北	望月義枝	富士宮市				
坂下	望月鈴子	富士市				
室野	望月梅子	富士市				
本三	渡辺和子	富士市				
儘下	佐野育子	富士市				
八幡	生駒和子	長泉町				
室野	望月咲子	富士市				
木島	佐藤公子	富士宮市				
四十九	小島富代	蒲原町				
東一	池谷美智子	富士市				
四十九	近藤千代子	蒲原町				

編集覚書

広報富士川に掲載するにふさわしい町政その他に対する意見、要望は、なるべく紙面をさいて皆さんにお知らせしていますが、掲載できなかつたお便りの意見も編集者としてはたいへん参考になり、ありがたく思っています。ただし匿名投書は直ちに破棄しています。81-1111 広報富士川 斎藤博

富士川夜話 村の武将

氏車 十

永祿十二年十二月十日である。朝の光りを浴びて、部落の残骸は、鮮烈な富士川のはとりにあるだけに、一種とはげた惨状を呈していた。

富士もぐつと裾を広げ、平板化した部落の廃墟に迫っていた。

広場では、避難先から帰ってきた村人たちが太兵衛の話に耳を傾けている。

「さて、当座、雨露をしのぐに足るだけの小屋を、組を作つてどしどし建てよう。木出しの楽な前山の村有林を、一山使つたらよいと思う。やがてゆとりができたら各自思案の本建築といふことであらう」

戦乱に明け戦乱に暮れた年であった。今川義元戦死を契機に、物産豊かな駿河の地を手中に収めようとして、甲斐の猛虎、武田信玄が兵を発し、斜陽の今川家を救援しようとする北条氏康の軍と諸処で攻防を繰り返したからである。

太兵衛をはじめ村の重立った者は、隣接する中之郷村、木島村の頭分とともにその状勢を注視し、村人を兵火から守ろうとはかっ

いた。

興津川での三カ月余の対陣が、四月二十八日、武田勢の庵原の山越による甲府への撤退ということとで終り、氏康も大軍を引いて由比浦原を通り、富士川尻を渡渉して小田原へ帰城、決戦せずして幕を閉じたことが、かえって不気味な予感をもたらせた。

とくに、氏康がこのとき、富士山麓の大宮城ほか各地の要所に兵を配置したが、太兵衛たちの悩みの種は、蒲原城にも兵がはいり防備を固めたことである。



松野村は、兵こそ常駐してはいないが、すでに武田の勢力に帰属したがって、木島村、岩淵村、中之郷村は、両家の接点に置かれてしまったことになる。

塩商人の交通があるため、甲府の模様をそれとなく分り、六月、猛虎が再び甲府を出ることも事前を知る事ができた。武田勢は、駿東の古沢新城をかすめ、伊豆三島の目標である大宮城を攻略、これを開城させ撤兵した。

と駿府への入城である。太兵衛たちは甲府の動静を探り続けた。対岸賀島から岩淵村へ押し寄せる公算がもつとも大きかった。年も暮れようとする十一月半ば、武田勢が一路南下し始めたという報に接し、村人に触れを出して主な家財道具、大部分の食糧を山の各所の小屋へ運び入れさせた。

十二月四日、物見らしい一隊が対岸に現れるにおよんで、かねての手筈どおり、混乱もなく山の小屋へ避難した。

翌五日、遂に全軍が渡河し、岩淵村と中之郷村を焼き払い、蒲原城攻めが開始された。

蒲原城は、信玄の策謀にまんまと乗せられ、翌日、城兵の出撃中に、松野の山奥から城のもつとも弱点な背後をついた武田の別動隊に占領され、狭み打ちにされた北条兵は潰滅してしまつた。

武田勢は一日の休養後、駿府に向つて出発、翌日には、蒲原城守備兵の手により、高札が立てられ「百姓たちは安心して生業に励むように」布令が出たのである。

寒さが一段ときびしくなつた。同じ格好の小屋からなる岩淵の村は、実に珍妙な姿ではあるが、結束して災いを乗り越えてきた自信に満ちていた。村の武将 太兵衛の表情も明るい。